

今月の

5冊



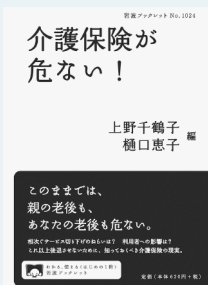
〈シリーズ ケアをひろく〉 「脳コワさん」支援ガイド

鈴木大介＝著
本体2000円＋税
医学書院 ☎03-3817-5600

高次脳機能障害と、うつや認知症、発達障害などの人には、「脳の情報処理スペックの低下」という共通の困りごとがある。「会話がうまくできない」「感情のコントロールができない」などに苦しむ状況や、回復に向かうまでの詳細な振り返りから、当事者が「楽」になって前に進むために援助者ができることを示唆。対人援助職必携の実践的ガイド。

介護保険が危ない！

上野千鶴子、樋口恵子＝編
本体620円＋税
岩波書店 ☎03-5210-4000



介護保険制度が開始されてから20年。利用者負担の引き上げ、介護報酬の抑制、財源不足などによる制度の空洞化に編者らは警鐘を鳴らす。2020年1月に開催された「介護保険の後退を絶対に許さない」集会の記録を基に書籍化。介護保険の後退を防ぎ、誰にとっても使いやすい制度を求めて、介護保険の現実を専門家たちが訴える。

医療福祉総合ガイドブック2020年度版

NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会＝編集
本体3300円＋税
医学書院 ☎03-3817-5600

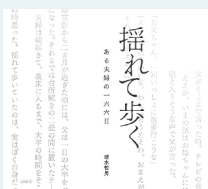


包括的な生活支援のための情報を網羅した定番書の最新版。医療・福祉の支援を熟知するソーシャルワーカーが、現場で必要とされる情報を「自分が利用するなら」の視点で分かりやすく解説する。医療保険、生活保護、年金、介護保険、障害者総合支援法、自然災害への支援などを幅広く網羅。医療福祉関係者必携の1冊。

揺れて歩く

ある夫婦の一六六日

清水哲男＝著
本体2200円＋税
エディション・エフ ☎075-754-8142



詩人である著者が記した、末期がの父の闘病と死を見つめた写真文集。「市井の片隅で生きる無名の人間」の1人としての父の最期と、その父を支えた母の生き様を写し、言葉を書き留めた本書は、プライベートな記録でありながら人間と命の本質に迫る普遍的な一冊となっている。

看護と福祉のはざまを紡ぐ

「人」と向き合う、細井恵美子の信念と実践

杉原百合子＝編著
本体2200円＋税
クリエイツかもがわ ☎075-661-5741



70年以上前から地域医療を支え、看護と福祉の垣根を越えた取り組みを続けた細井氏は、人それぞれの暮らしや価値観、不安や望みに目を向けることの大切さを説いてきた。その信念と実践を振り返る本書では、病を抱えながら生活する「人」と真摯に向かい合うことの大切さや、対象の尊厳を守り抜くための看護の底力が丁寧に語られる。